

あの日から7年。
今日も海は穏やかです。

「今日のこの景色は 今日しか 見ることができない」という想いから、岩手県釜石市と大槌町を中心に、日々刻々と変化するまちを写真に撮り続けてきました。
これまで撮影した枚数は、155,182 枚。その一枚一枚に、いろいろなものが詰まっています。

工事が進むにつれ、まちはどんどん変わっていきます。嵩上げによって地面が高くなり、道のかたかが変わり、目印だった建物がなくなっていく。車を運転していると迷子になることもあり、その変化にうまく心が追いつかないこともあります。風景よりも人の気持ちの変化のスピードは遅いかもしれませんが、でも、少しずつ歩みを進めています。

この7年間、本当に多くの方々にご支援をいただきました。「復興カメラ」に関わってくださったすべての方に感謝の気持ちを伝えたいと思っています。どうもありがとうございます。まだ日の目を見ない写真たちにも感謝しています。

2011年3月11日から、
1年のはじまりは「3月11日」になりました。
まだまだ復興はこれから。
今年もどうぞよろしく願いいたします。

特定非営利活動法人
@リアス NPO サポートセンター

2018年3月11日

撮影した枚数／
155,182枚

撮影した場所／
3,250ヶ所

撮影者／
31名

気がいたら 155,182 枚という膨大な枚数を撮影していたようです。

最初の頃はこまめにイベントに足を運び、まちの状況や工事の様子を頻繁に撮影していました。現在は造成工事も落ち着いてきて、以前と比べると風景の変化は大きくはありません。定点観測の場所は、18ヶ所。まちの様子を見ながら、撮ったり、撮らなかつたりする時期を繰り返して記録しています。

この7年間でメンバーも少しずつ変わりながら、いまもわたしたちなりのペースでシャッターを切っています。

Facebook ページいいね！数／
2,113名

Twitter フォロワー数／
232名

復興カメラの Facebook ページでは、毎月「11日」に写真を公開しています。ときには100人、200人もの方々から「いいね！」をいただくこともあります。日本中、世界中の方々が、この土地のことを気にかけてくれていることを感じます。

写真パネルの数／
657枚

写真展開催数／
22回

来場者数／
24,320名

写真パネル貸出数／
130回

写真展では、さまざまな出来事が起こります。初めは、思い出したくないことを思い出させてしまうのではないかと不安もありました。しかし、「ここにわたしの実家が写っている」「ここは昔こんな風だった」と、写真をきっかけに、自分の記憶を語り出す方がいらっしゃる場面に度々出会いました。「この時どうだった？」と一緒にいる人と当時の経験をふりかえる場面にも立ち合いました。その一方で、あまり見たくないとすぐに会場を出ていってしまう方もいて、受け取り方はさまざまです。最近では、写真パネルを貸し出してほしいという方もいらっしゃって、各地で自主的な展示会も生まれています。

復興カメラ 2018.3.11



発行：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8階

発行日：2018年3月11日

Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）

*本リーフレットは東北の変化するいまと、その先にふれるジャーナル「FIELD RECORDING」の一環として制作しました。

**数字はすべて2017年9月現在のものです。

Edit by Yoko KAWAMURA
Design by Atsuko KIMURA (kids)

2011年3月11日▶



2011.3.11



▶2018年2月11日

